

主要産地における平成29年産水稻の生育状況等について 第2報 (6月1日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年6月2日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(育苗・田植)	<p>(全道) 苗の生育は平年並に推移しており、一部地域では移植作業が始まっている(早1日)。雪解けも速く、春先の気温も高く推移したことから、農作業及び生育は順調に進んでいる。 (北海道農政部 5月15日現在)</p> <p>(空知) 苗の生育は順調であり、一部地域では移植が始まっている(早1日)。(空知総合振興局 5月15日現在) (石狩) 生育は進み、一部で移植が始まっている(早3日)。(石狩総合振興局 5月15日現在) (後志) 苗の良否は平年並。移植の進捗率は1%(早1日)。(後志総合振興局 5月15日現在) (胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 5月15日現在) (日高) 生育は平年並。(日高総合振興局 5月15日現在) (渡島) 生育は平年並に推移(早1日)。(渡島総合振興局 5月15日現在) (檜山) 生育は概ね平年並。(檜山振興局 5月15日現在) (上川) 耕耘は平年よりも早く進んだが、は種作業は平年並に終了し、生育も平年並。(上川総合振興局 5月15日現在) (留萌) 生育は平年並。出芽期は4月24日で平年より2日早い。(留萌振興局 5月15日現在) (オホーツク) 生育は平年並(早2日)。出芽期は4月27日。(オホーツク総合振興局 5月15日現在)</p>	<p>・6月のヒメトビウカの発生量は平年並、イネドロオムシとフタオビコヤガの発生期はややく、発生量は少の予報 (北海道病害虫防除所 5月31日公表)</p>
青森	(田植・生育)	<p><5月31日現在の生育状況> ・黒石の「つがるロマン」は、草丈が24.7cmで平年より4.1cm長く、株当たり茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.6葉で平年より0.4葉多かった。また、「青天の霹靂」は草丈が24.9cmで前年より1.4cm短く、茎数は4.0本で前年並、葉齢は4.6葉で前年より0.1葉多かった。 ・十和田の「ましぐら」は、草丈が30.7cmで平年より5.4cm長く、株当たり茎数は4.0本で平年並、葉齢は4.9葉で平年より0.3葉多かった。 (青森県産業技術センター農林総合研究所 6月1日付)</p> <p>・5月25日現在の田植進捗状況は、県全体で88%となっており、平年より4ポイント高かった。県全体の田植最盛期は、平年より1日早い5月20日であった。 <地区別進捗状況> (東青) 79% (中南) 86% (西北) 93% (上北) 89% (下北) 58% (三八) 78% (青森県 5月26日)</p>	<p>・6月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオムシはやや少ないと予想される。 (青森県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
岩手	(田植)	<p>・5月19日現在、田植え時期の気温・日照時間とも平年を上回り、活着は概ね良好。 ・直播栽培(鉄コーティング種子による湛水表面播種栽培)は、播種後出芽までの気温が平年より高く経過しており、県内各地とも出芽は良好。 (岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月25日付)</p> <p>(田植) ・5月19日現在、県全体の田植え進捗率は62%。直近3年と比べもとも進みが遅いが、今後は好天が予想され、田植え準備も進んでいることから、適期内(5月15日～25日)に田植え終期を迎えると見込んでいる。 地帯別の田植え進捗率は、北上川下流域は76%であり田植え終期に近づいている。また、東部は52%で田植え盛期を迎え、北上川上流は37%、北部は7%で田植え終期に達していない。 (中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月19日付)</p>	<p>・6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は平年並の予報。 イネミズゾウムシ、イネドロオムシの発生量は少の予報。 斑点米カメシ類(アカスジカシカメ)のふ化が早まっており、県中南部では既にふ化盛期を迎えている。 (岩手県病害虫防除所 5月31日付)</p>
宮城	(田植)	<p>・5月25日現在の県全体の田植進捗率は98.2%であり、山間高冷地帯等一部を除き県内の田植はほぼ完了している。田植終期は5月21日であり、平年及び前年と同時期であった。育苗～田植期間が概ね良好な天候で経過したことから、本年の田植作業は順調に進んだ。 <地区別進捗状況> (大沼) 98.0% (仙台) 96.3% (大崎) 98.6% (栗原) 99.0% (登米) 98.6% (石巻) 99.3% (気仙沼) 96.9% (宮城県 5月26日付)</p>	<p>・イネミズゾウムシの発生時期はややく、発生量は平年並と予報。イネドロオムシの発生時期はややく、発生量はやや少の予報。 (宮城県病害虫防除所 5月23日公表)</p>
秋田	(由利) (平鹿) (雄勝) (北秋田) (秋田) (仙北) (鹿角)	<p>(由利) 5月20日現在、田植え作業の進捗率は62.6%となっている。盛期は平年より1日遅い5月19日となった。また、水稻の直播栽培における播種作業は22日にはほぼ完了し、終期は平年より1日早い5月19日となった。出芽状況は良好。 (5月26日付)</p> <p>(平鹿) 移植の進捗率は平年より1日早い5月24日となり、5月25日現在の水稻の移植作業の進捗率は67.4%となっている。 (5月26日付)</p> <p>(雄勝) 田植え盛期となっている。(5月26日付)</p> <p>(北秋田) 5月25日現在の田植え作業は、84%の進捗となっている。盛期は平年並の5月21日(平年:5月22日)。田植え後の生育は、好天により良好。(5月26日付)</p> <p>(秋田) 管内の田植え作業は、平年より3日遅い5月21日に盛期を迎えた。(5月26日付)</p> <p>(仙北) 5月20日現在の管内の水稻移植作業進捗状況は、進捗率34.6%(平年23.6%)となっている。また、直播播種作業の盛期は5月19日(平年5月16日)で平年並の作業進捗となった。(5月26日付)</p> <p>(鹿角) 耕耘の5月10日現在の進捗状況は89.5%で5月4日(平年5月7日)に盛期を迎えた。(5月12日付) (秋田県農林政策課)</p>	<p>・6月の病害虫発生量予報 葉いもち、ばか苗病はやや少ない。 イネミズゾウムシは平年並、イネドロオムシは少ない。 イネキリコエはややく、アカヒゲホソドリカシカメは少ない。 アカヒゲホソドリカシカメは平年並、フタオビコヤガは少ない。 (秋田県病害虫防除所 5月26日公表)</p>
山形	(田植・生育)	<p>・移植盛期は5月18日と平年より早くなった(庄内地域:5/13(-)、内陸地域5/21(-))。各地域とも移植後は好天に恵まれ、活着は概ね良好。5月31日現在の生育は、平坦部「はえぬき」で、草丈は長く、茎数、葉数は平年並となっている。 ・直播栽培は、播種後の好天により、全般的に苗立ちが良好となっている。 ・「つた姫」は、順調に田植え作業が行われ、良好なスタートを切った。現在の生育は、草丈が平年より長く、茎数、葉数は平年並となっている。 (オールやまがた米づくり日本一運動本部 5月31日付)</p> <p>(東南村山) 5月20日頃からの1週間、気温が平年より高く、早期警戒情報が発表された。移植後は17℃以上の水温を2～3日間確保し、早期活着を図るよう指導。(村山総合支庁農業技術普及課 5月17日付) 本田作業の進み具合は平年並。田植えは5月25日頃を晩限に、2～3日程度好天となる日を選んで行うよう指導。 (村山総合支庁農業技術普及課 5月11日付)</p> <p>(鶴岡田川) 今年の乾土効果は「小さい」と推定。平成26年のように茎数の確保が遅れる恐れがある。適切な水管理で、初期生育の促進を図るよう指導。(庄内総合支庁農業技術普及課 5月16日付)</p> <p>(最上) 管内の移植作業は、始期が5月16日、盛期が20日、終期が28日(見込み)と、平年よりやや早い進捗となっている。好天が続く、活着は良好と考えられる。(最上総合支庁農業技術普及課 5月23日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメシ類の発生量はやや多いと予報。 (山形県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
福島	(育苗・田植)	<p>・移植栽培の播種作業は、盛期が4月17日(平年並+1日)、終期が4月24日(平年並±0)で、平年並に進んだ。湛水直播栽培の播種作業や移植栽培の田植えは、4月下旬から始まっている。 (福島県農水産部 5月12日付)</p>	<p>・葉いもちの発生量は平年並、イネドロオムシの発生時期は早く発生量はやや少、イネヒメハゼクリバエの発生量はやや少、イネミズゾウムシの発生時期はややく発生量はやや少と予報 (福島県病害虫防除所 5月26日公表)</p>
茨城		<p>・4月下旬現在、本田でのイネミズゾウムシの生息数が最高に達する時期は、平年並と予測される。 県西地域と県南の一部地域では、イネ綿葉枯ウイルス保毒虫害が10%以上の高い値となったためイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)防除を目的とした農業の育苗箱施用を行うよう指導 (茨城県病害虫防除所 4月27日公表)</p> <p>・関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月17日付)</p>	<p>・関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月17日付)</p>
栃木		<p>・5月中旬～下旬に調査した結果、イネ綿葉枯病(ヒメトビウカ媒介)の県中南部地域での発生量は多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 5月31日公表)</p> <p>・5月下旬～6月下旬の綿葉枯病の発生量はやや多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 5月19日公表)</p> <p>・関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月17日付)</p>	<p>・5月中旬～下旬に調査した結果、イネ綿葉枯病(ヒメトビウカ媒介)の県中南部地域での発生量は多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 5月31日公表)</p> <p>・5月下旬～6月下旬の綿葉枯病の発生量はやや多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 5月19日公表)</p> <p>・関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月17日付)</p>

注:この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知させることを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。
各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

		平年に対する遅速等	
埼玉			<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いもちの発生量はやや多、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシとヒメトビウカの発生量はやや少、<u>繭葉枯病の発生量はやや多の予報</u> (埼玉県病害虫防除所 5月29日公表) 関東のイネ繭葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月17日付)
千葉	(育苗・田植)	<ul style="list-style-type: none"> 5月19日現在、育苗では初期の低温があったものの、生育は平年並に進んだ。移植後は、4月下旬の低温と強風の影響で、初期生育が抑えられ、葉齢の進みはやや遅い傾向となった。草丈は平年並、葉数は全体として少なめに推移し、特に早生では葉数不足が目立った。(千葉県農林水産部 5月23日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシは平年並、ジャンボタニシは多、ヒメトビウカはやや多、イネタカカメシはやや少の予報 (千葉県農林総合研究センター 5月17日公表) 関東のイネ繭葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月17日付)
新潟	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 5月30日現在、田植え後の気温が平年より高く推移しており、生育は良好。コシヒカリは、県平均で指標値に比べ草丈は「やや早い」、葉数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」状況。こしいぶきは、県平均で指標値に比べ、草丈は「並」、葉数は「多い」、葉数の進みは「早い」状況。 作物研究センター調査ほの新之助の生育は、草丈は前年より短く、葉数は前年より少なく、葉数の進みは前年並。(新潟県農林水産部 5月31日付) (新発田) コシヒカリ(5月30日調査)の田植え後の活着は平年並。田植え以降、高温で推移したことから、生育が進んでいる。生育は平年に比べ4日程度早まっている。草丈は26cmで指標比119%(長い)、葉数は103本/m²で指標比121%(多い)、葉数は5.6葉で指標比+0.9葉(多い)。(新発田農業普及指導センター 5月30日付) (新潟) 5月30日現在、コシヒカリの生育状況は目標に比べて、草丈は「やや短い」(94%)、葉数は「多い」(121%)、葉数は「遅」(+0.2葉)。田植え後は気温が高く、日照も多く推移し、生育は概ね順調だが、ワキやアオミドロ、寒酸別離が発生しているほ場が見られる。(新潟県農業普及指導センター 5月31日付) (三条) 5月30日現在、田植え後の好天で、コシヒカリの生育は指標値より3~4日程度早く、前年同様(前年比97%)に葉数も多い。全般的に初期生育が良好で分けつが発生が順調に進んでいる。草丈は26cmで指標比110%、葉数は103本/m²で指標比116%、葉数は5.7葉で指標比+0.7葉。(三条農業普及指導センター 5月30日付) (上越) 5月30日現在、コシヒカリの生育は、5月中旬以降、高温で経過したことから、例年になく早く進んでいる。指標値に比べ、草丈は長い(128%)、葉数は多い(139%)、葉数は多い(+0.9葉)。「こしいぶき」の生育も、順調に進んでいる。(上越農業普及指導センター 5月30日付) (巻) 生育は順調に推移している。5月下旬から6月中旬は平年に比べ気温が高く、晴れの日が多いと予報され、生育が早まることが予想される。(巻農業普及指導センター 5月24日付) (佐渡) 5月中旬以降気温が高めに推移し、稲の生育は進んでいる。田植え日によって風の影響が少なかったほ場は生育がかなり進んでいる。5月30日現在のコシヒカリは、葉数はやや多、活着の良いほ場では葉数は多、草丈・葉数は、ほぼ指標並。(佐渡農業普及指導センター 5月30日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ニカメイチュウ1世代は平年並~やや少ない、ツマグロヨコバイは平年並~やや多い(佐渡では多い)、イネドロオウムシはやや多い、イネミズゾウムシは多いと予報 (新潟県病害虫防除所 5月31日公表)
富山	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 生育観測ほデータ(5月31日現在) <ul style="list-style-type: none"> (てんたかく) 平年に比べ、草丈はやや長く、葉数は多く、葉齢はやや進んでいる。 (コシヒカリ) 平年に比べ、草丈はやや長く、葉数、葉齢は並みとなっている。 (てんこもり) 平年に比べ、草丈は長く、葉数は多く、葉齢はやや進んでいる。 (富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月30日付) 直播栽培の生育状況(5月29日現在) <ul style="list-style-type: none"> 湛水田中直播栽培(カルバー)は、平年に比べ、草丈は20.6cmとかなり長く、葉数は142本/m²(苗立本数比194%)とかなり多く、葉齢展開は4.1葉と進んでいる。 湛水表面直播栽培(鉄)は、草丈は14.7cm、葉数は104本/m²、葉齢は3.7葉となっている。 乾田V溝直播栽培は、草丈は12.6cm、葉数は195本/m²、葉齢は3.1葉となっている。 (富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月29日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病は多い、アカヒゲホソドリカスミカメはやや多い、アカシジカスミカメ、トゲシロシカメシは平年並、ニカメイガは発生時期が早く発生量は平年並(局部多い)、イネミズゾウムシは平年並、イネドロオウムシは少ない、ツマグロヨコバイはやや多いと予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月31日公表)
石川	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は、コシヒカリは平年比97~114%(県平均:105%、加賀:105%、能登:105%)、と概ね平年、前年に比べやや長い。ゆめみずほは、近年比94~115%(県平均:104%、加賀:102%、能登:112%)と加賀地域は近年並で前年よりやや長く、能登地域は近年及び前年に比べ長い。 葉数は、コシヒカリは平年比107~162%(県平均:129%、加賀:127%、能登:134%)と平年に比べ多く、前年よりやや多い。ゆめみずほは、近年比90~170%(県平均:139%、加賀:134%、能登:168%)と近年及び前年に比べ多い。 ひやくまん親は、調査田の移植日がコシヒカリに比べ加賀地域で4日、能登地域で12日程度遅いため、加賀地域で分けつが発生が見られるものの、能登地域では分けつが発生は見られていない。 葉齢は、コシヒカリは平年比96~133%(県平均:106%、加賀:+0.3葉、能登:+0.3葉)、ゆめみずほは近年比100~111%(県平均:106%、加賀:+0.2葉、能登:+0.6葉)、ひやくまん親は、県平均4.7葉(2.4~6.1葉)となっている。 葉齢展開は、コシヒカリは平年に比べ2~3日程度早く、前年並、ゆめみずほは近年に比べ2日程度早く、前年並。 (石川県農林水産部農林総合研究センター 5月29日調査) 	<ul style="list-style-type: none"> 5月下旬~6月中旬の葉いもちの発生量はやや多、イネドロオウムシの発生量はやや少、斑点米カメムシ類の雑草類における発生はやや多と予想 (石川県農林総合技術センター 5月25日公表)
福井	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 5月は高温で推移し、4、5月中旬が降雨が少なく多日照となった。ハナエテゼン、コシヒカリともに平年並の生育となっている。(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月25日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 5月の苗いもちの発生量は平年並、イネミズゾウムシとイネゾウムシの発生量は平年並、イネヒメハモグリハエの発生量は平年より少ないと予報 (福井県農業試験場病害虫防除室 5月1日公表)
長野	(生育)	<ul style="list-style-type: none"> 田植え後、高温傾向で推移している。活着は順調。(松本農業改良普及センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 5月29日推定では、イネミズゾウムシの発生時期(越冬後成虫の半数出現推定時期)は、平年値のある長野、松本、諏訪、飯田の4観測地点では平年並の予測。上田では平年よりやや早い、木曾福島ではやや遅いと予測。その他の地点は、平成27年に比べて3~12日程度遅いと予測。(長野県病害虫防除所 5月31日公表) 向こう1か月間のニカメイチュウの発生量は平年並~やや少く、ツマグロヨコバイ、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並~やや少いと予報 (長野県病害虫防除所 5月16日公表)
滋賀			<ul style="list-style-type: none"> 葉いもち、ニカメイガ(1)、イネドロオウムシ、イネミズゾウムシの発生量は平年並の予報 (滋賀県病害虫防除所 5月23日公表)
兵庫	(育苗・田植)	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日現在、県北は本田での生育はほぼ順調である。県南は苗の生育は順調である。(兵庫県農政環境部 6月1日付) 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は平年並、ヒメトビウカ(繭葉枯病)の発生量はやや多、セジロウカ、トビウカ、ニカメイガの発生量は平年並の予報 (兵庫県病害虫防除所 5月30日公表)
岡山			<ul style="list-style-type: none"> 5月の病害虫の発生量は、細菌性苗立枯病の発生量は平年並、ヒメトビウカは少、繭葉枯病はやや少、ツマグロヨコバイは少、萎縮病は平年並、イネミズゾウムシの発生時期はややく、発生量は平年並と予報 (岡山県病害虫防除所 5月1日公表)
広島			
山口			

平年に対する遅速等		
愛 媛	<p>(育苗) ・5月は普通期水稲の育苗が始まる。(愛媛県農林水産研究所 5月10日付)</p>	<p>・6月の葉いもち、ウンカ・ヨコバイ類の発生量は平年並の予報 (<u>愛媛県 5月31日公表</u>)</p>
高 知	<p><5月17日時点の生育状況> 全体的に生育進度がやや遅れ気味となっているが、問題なく生育している。 ・4月5日植え雨国そだちは、草丈は平年よりやや高く、茎数は平年より多く、葉齢でみた生育進度は平年よりやや遅くなっている。 (田植) ・4月5日植えコシヒカリは、草丈は平年よりやや高く、茎数は平年よりやや多く、葉齢でみた生育進度は平年よりやや遅くなっている。 ・4月14日植えコシヒカリは、草丈は平年より高く、茎数は平年よりやや多く、葉齢でみた生育進度は平年並となっている。 (高知県農業技術センター 5月18日付)</p>	
福 岡	<p>(育苗・田植) ・早期水稲の田植は平年並で、5月15日までに終了。苗の活着や初期生育は良好。 ・普通期水稲は、5月15日現在、6月上中旬植えの育苗作業が行われ、生育は順調。出穂期移行の高温を想定し、「琴つくし」の田植は6月上中旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 平成29年5月15日現在(専技情報より抜粋))</p>	
熊 本		<p>・5月の早期水稲のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並の予報 (熊本県病害虫防除所 5月1日公表)</p>
宮 崎		<p>・向こう1か月間の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報 (<u>宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月19日公表</u>)</p>
鹿 児 島		<p>・6月の早期水稲のいもち病の発生量はやや少、紋枯病の発生量は平年並の予報 (<u>鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表</u>)</p>

注1： 地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2： 生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標					
		平成29年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）	収穫量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		t	t	%	t	t	t
全 国	<p>・6月3日～7月2日の1か月間の気温は、北・東日本ではほぼ平年並、西日本では平年並か高い見込み。北日本太平洋側、東日本日本海側及び西日本太平洋側では向こう1か月の降水量は平年並か多い見込み。北日本日本海側、東日本日本海側及び西日本太平洋側では、日照時間は平年並か少ない見込み。沖縄・奄美では、向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は、かなり高くなる所がある見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。 （気象庁 6月1日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見通し）</p> <p>・6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わり、期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。</p> <p>・7月は、北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。</p> <p>・8月は、北日本では、天気は数日の周期で変わり、東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 5月24日発表）</p>	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103
北 海 道	<p>・北海道地方の6月3日～7月2日の1か月間は、1週目の気温は日本海側とオホーツク海側で平年より低く、太平洋側では平年並か低い見込み。向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は、太平洋側は平年並が多く、日本海側とオホーツク海側はほぼ平年並の見込み。日照時間は、平年並か少ない見込み。 （札幌管区気象台 6月1日発表）</p>	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102
青 森	<p>・東北地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （仙台管区気象台 6月1日発表）</p>	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104
山 形	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102
茨 城	<p>・関東甲信地方の6月3日～7月2日の1か月間の気温は、期間のはじめは平年並か低くなるが、その後は平年並か高くなり、向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。向こう1か月の降水量および日照時間はほぼ平年並となる見込み。 （気象庁 6月1日発表）</p>	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99
栃 木	同上（気象庁 6月1日発表）	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102
埼 玉	同上（気象庁 6月1日発表）	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101
千 葉	同上（気象庁 6月1日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102
新 潟	<p>・北陸地方の6月3日～7月2日の1か月間は、気温はほぼ平年並、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。2週目は、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。 （新潟地方気象台 6月1日発表）</p>	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108
富 山	同上（新潟地方気象台 6月1日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106
石 川	同上（新潟地方気象台 6月1日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104
福 井	同上（新潟地方気象台 6月1日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104
長 野	<p>・関東甲信地方の6月3日～7月2日の1か月間の気温は、期間のはじめは平年並か低くなるが、その後は暖かい空気が流れ込みやすく、平年並か高くなり、向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。向こう1か月の降水量および日照時間はほぼ平年並となる見込み。 （気象庁 6月1日発表）</p>	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋賀	・近畿地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並の見込み。太平洋側では、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。日本海側では、降水量はほぼ平年並、日照時間もほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 6月1日発表）	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月1日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡山	・中国地方の6月3日～7月2日の1か月間は、1週目の気温は平年並か低く、2週目と3～4週目は平年並が高く、平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （広島地方気象台 6月1日発表）	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広島	同上（広島地方気象台 6月1日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山口	・九州北部地方（山口県含む）の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は平年並が高く、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （福岡管区気象台 6月1日発表）	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛媛	・四国地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （高松地方気象台 6月1日発表）	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高知	同上（高松地方気象台 6月1日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は平年並が高く、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （福岡管区気象台 6月1日発表）	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊本	同上（福岡管区気象台 6月1日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮崎	・九州南部地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は高く、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 6月1日発表）	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月1日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料):

平成29年産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成28年産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成29年度病害虫発生予報第2号(農林水産省)

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道 5月19日)、農作物生育状況 5月15日現在(北海道空知総合振興局 5月19日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道石狩振興局 5月19日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道後志総合振興局 5月19日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道胆振総合振興局 5月19日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道日高振興局 5月19日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道渡島総合振興局 5月19日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道檜山振興局 5月19日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道上川総合振興局 5月19日)、農作物生育状況調査の概要 5月15日現在(北海道留萌振興局 5月19日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 5月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 5月19日)、
平成29年度病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月31日)、
H29水稲作況(5月31日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月1日)、
5月25日現在田植進捗状況(青森県 5月26日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号(6月予報)(岩手県病害虫防除所 5月31日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月25日)、
田植えの進捗状況(5月19日現在概況速報)について(岩手県中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月19日)、
平成29年産水稲の田植進捗状況について(5月25日現在)(宮城県農林水産部 5月26日)、平成28年度発生予察情報発生予報第3号-水稲-(宮城県病害虫防除所 5月23日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 5月26日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月26日)、
米づくり技術情報NO.2(オールやまがた米づくり日本一運動本部 5月31日)、
おいしい米づくり情報第4号(庄内総合支庁農業技術普及課 5月16日)、おいしい米づくり情報第4号(村山総合支庁農業技術普及課 5月11日)、
おいしい米づくり情報第4号(高田総合支庁農業技術普及課 5月17日)、
稲作日より第5号本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 5月23日)、
平成29年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 5月31日)、
主要な農作物の生育情報平成29年度第2号(福島県農林水産部 5月12日)、平成29年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月26日)、
病害虫発生予報5月号(茨城県病害虫防除所 4月27日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月19日)、
平成29年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター 5月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月29日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(千葉県農林総合研究センター 5月17日)、
水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 5月23日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部 5月31日)、新発田地域水稲生育速報No.1(新発田農業普及指導センター 5月30日)、
稲作速報No.1(新潟農業普及指導センター 5月31日)、FAX稲作情報No.4(三条農業普及指導センター 5月30日)、
平成29年上越地域米 コンセカ・こいぶき 生育速報(5月30日)(上越農業普及指導センター 5月30日)、
2017水稲栽培技術対策資料No.3(巻農業普及指導センター 5月24日)、平成29年度稲作生育速報No.1(佐渡農業普及指導センター 5月30日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第1号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月30日)、直播情報(第1号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月29日)、
病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 5月31日)、
平成29年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月31日)、
病害虫発生予報第2号(石川県農林総合研究センター 5月25日)、平成29年農作物病害虫発生予察予報第3号(福井県農業試験場 5月1日)、
稲作情報No.4(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月25日)、
平成29年作物技術普及情報第7号(松本農業改良普及センター)、
イネミズノムシ越冬後成虫の発生時期の予測(平成29年)(長野県病害虫防除所 5月31日)、
病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)、平成29年病害虫発生予報第3号(滋賀県病害虫防除所 5月23日)、
平成29年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月1日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(兵庫県病害虫防除所 5月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(岡山県病害虫防除所 5月1日)
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 5月10日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県 5月31日)、
平成29年度における早期水稲の生育状況(5月17日時点)(高知県農業技術センター 5月18日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(5月予報)(熊本県病害虫防除所 5月1日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月19日)、平成29年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月29日)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気象台)
全国方向こう1か月の天候の見通し・全国向こう1か月の天候の見通し(気象庁)